



実習生が1人もいない教室。

5月7日(木)撮影。

5月に入りました。皆さんもご存じの通り、現在日本ではコロナウイルス拡大防止対策として、4月3日以降、アジアの大半の国と地域からの外国人の入国の拒否が続いています。この対策の影響で、当校での日本語授業は、4月の第3週を最後に開かれていません。在籍実習生数も、5月8日現在0名。当校開校以来の状況に直面しています。そこで今月は、先月行われた最後のクラスの実習生の皆さんの様子を中心に、お届けさせて頂きたいと思います。

なお、現在日本語の授業は行われておりませんが、弊社としての事業活動は通常通り続けさせて頂いておりますので、何かございましたら、いつでも遠慮なくご連絡ください。実習生の皆さんが、元気に来日し、教室が皆さんの笑顔で溢れる日々が、1日も早く来ることを願ってやみません。

あじけんスコープ Vol.85 講師ファイル

GUZMAN EMMANUEL JOSE JR POSIO (グズマン エマニュエル ホセ ジュニア ポシオ) 先生

はじめまして。GUZMAN EMMANUEL JOSE JR POSIO (グズマン エマニュエル ホセ ジュニア ポシオ) と申します。フィリピンから参りました。フィリピン人は名前が長いので、エマンとお呼びください。

日本に初めて来たのは、留学生として10年前(2010年)です。妻と一緒に、埼玉県越谷市で日本語を勉強しました。最初は、実習生達のように、ひらがなとカタカナしか分かりませんでした。大変でしたが、一所懸命頑張りました。

その後、私は帰国し、EPA候補者への日本語指導に携わりました。2017年にまた日本に来て、妻と再会し、きぼうでEPA候補者の学習や、フィリピン人実習生への生活指導の通訳業務等をさせて頂いていました。そして、昨年からは、日本語の授業も担当することになりました。

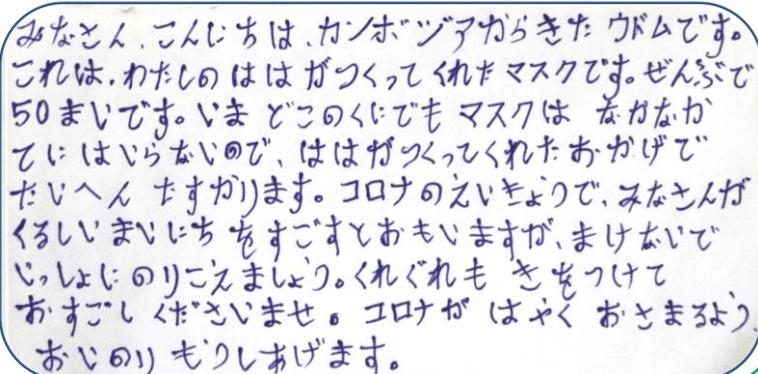
実習生達には、それぞれの実習先で、皆さんが成功することを祈っています。実習生の皆さんには、日本語はもちろん、マナーやルールを守ることもとても大切にして欲しいと思っています。日本語はまだまだ上手く話せない時でも、ルールをきちんと守っていると周りの人に良い人間だと思われ、うまくコミュニケーションできることが多いと思うからです。実習生の皆さんが、一所懸命頑張って、楽しそうに勉強している姿を見ると、かつての自分を思い出し、嬉しくなります。

今後とも、皆と一緒に楽しく頑張って行きたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。



今月の実習生

今月は、新型コロナウイルス感染拡大の中、お母さんが作ってくれたマスクを50枚も持参して来日し、先月まで本校で日本語を学んでいたカンボジア人実習生 SAO UDOM (ウドム) さんです。日本語がとても上手で、性格も真面目なウドムさん。これからも、お母さんマスクを付けて、コロナに負けず頑張っていくことでしょう。



みなさん、こんにちは、カンボジアからきたウドムです。これは、わたしのははがつくってくれたマスクです。ぜんぜんで50まいです。いまだこのくいでマスクはなかなかていはいらないので、ははがつくってくれたおかげでたいへんたすかります。コロナのせいにより、みなさんがいるまいにちをすごすおもしろいですが、まけないでいはいのりこえましょ。くれぐれもきをつけておすごしくださいませ。コロナがはやくおさまるとおいはいもりあげます。



お母さんの手作りマスク(5種類)を持つウドムさん

あじけん流日本語授業

今月は、4月最後のクラスで行われていたグループ活動形式での会話練習の様子をお伝えします。

この授業では、ベトナム人実習生とカンボジア人実習生が、お互いの国の郷土料理を題材にコミュニケーション活動を行いました。活動の主な流れは、

① グループ内での発表準備（母語）→②郷土料理の発表（日本語）→③発表についての質疑応答（日本語）

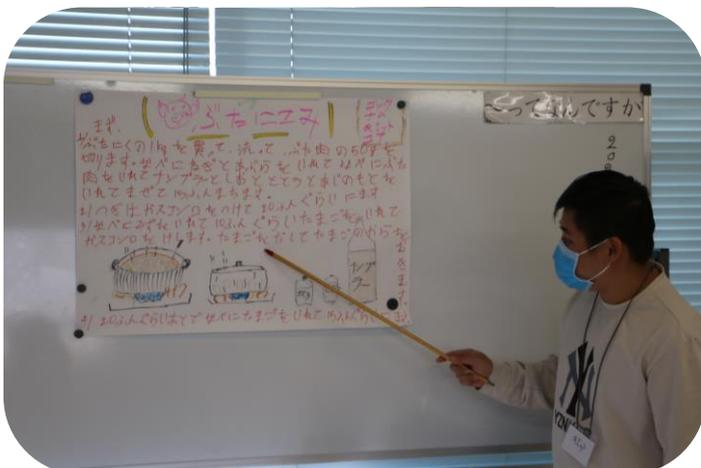
①の準備活動では、自分たちが紹介する料理について、材料と作り方を出来るだけ詳しく説明する資料を作らせることが大切です。そうすることで、食べ物や調理器具といった生活に密着した基本名詞や、切る・炒める・煮る等の基本動詞を使わせることが出来ます。また、～個・～本等の数詞や、～g（グラム）・～cm（センチ）等の度量衡の基本単位も練習することができます。②での注意点は、発表する実習生に、「自分の言葉」で、「相手に分かりやすく」話すことを意識させることです。具体的に大切なことは、・相手の目を見て話す、・適切な音量で話す、・適切な速度で話す、の3つとなります。これらは、初級学習者にとって、出来そうで出来ない「発話の基本」なので、しっかり定着させたい技能と言えます。③では、クラスメイトの説明を聞いて、自分が疑問に思った点や、もっと知りたいと思った点を、積極的に質問できる雰囲気作りがポイントとなります。そのためには、文法的な間違いを細かく指摘しないことや、挙手した実習生の質問内容や、その積極的な態度についてのポジティブなフィードバック（褒める）が大切になってきます。今回は「料理」がテーマでしたが、他にも「週末の活動」、「実習内容」等学習者の生活に密着したテーマを選んで行われることもあります。



先生のアドバイスを受けて発表内容を考える実習生達



協力して発表資料作りに取り組む実習生達



掲示資料を活用してプレゼンするベトナム人実習生



ベトナム人の発表について質問するカンボジア人実習生

※当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます。